

## 鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成19年度）の訂正について 平成20年12月

平成20年10月15日に公表しました「鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成19年度）」につきまして、一部の事業者より訂正の報告があったため、当該内容を反映させ以下の通り訂正いたします。（赤字下線の部分が変更箇所になります。）

### ●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成19年度）[概要版]

#### 【P1】

<ポイント>

- JR西日本福知山線列車脱線事故を契機として義務付けした曲線部への速度制限機能付きATS等の整備率が平成19年度末時点で84%に達するなど、安全対策の進捗を見た。

#### 【P2】

○ 重大な事故を契機とした安全対策

（前略）平成19年度末時点で曲線部への速度制限機能付きATSの整備率が84%に達しています。（以下略）

#### 【P4】

		整備率	
		平成19年3月末	平成20年3月末
速度制限機能付きATS	曲線部	<u>82%</u>	<u>84%</u>
	分岐部	33%	37%
	終端部	82%	83%
運転士異常時列車停止装置		60%	64%
運転状況記録装置		35%	43%
発報信号設備の自動給電設備		50%	57%

※ 急曲線における速度制限機能付きATSの緊急整備については、対象の264箇所全てが平成19年3月末において整備が完了しています。

## ●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成19年度）

### 【P5】

#### ○重大な事故を契機とした安全対策

（前略）平成20年3月末時点における各装置の整備率は、曲線部への速度制限機能付きATSが84%、運転士異常時列車停止装置が64%、運転状況記録装置が43%などとなっています。（以下略）

### 【P40】

		整備率	
		平成19年3月末	平成20年3月末
速度制限機能付きATS	曲線部	82%	84%
	分岐部	33%	37%
	終端部	82%	83%
運転士異常時列車停止装置		60%	64%
運転状況記録装置		35%	43%
発報信号設備の自動給電設備		50%	57%

※ 急曲線における速度制限機能付きATSの緊急整備については、対象の264箇所全てが平成19年3月末において整備が完了しています。